

令和 2 年度 事業報告書



令和 3 年 3 月 31 日
社会福祉法人 唐池学園

目 次

社会福祉法人 唐池学園	．．．．．	P 1
児童養護施設 唐池学園	．．．．．	P 7
児童養護施設 強羅暁の星園	．．．．．	P 11
乳児院 ドルカスベビーホーム	．．．．．	P 15
保育所 吉岡保育園	．．．．．	P 19
保育所 つぼみ保育園	．．．．．	P 23
障害者支援施設 貴志園	．．．．．	P 27

○ 全体の総括

令和2年度に強化する取り組みとして位置付けた8つの項目のうちの6つについて、ある一定の目標を達成した。

特に、No.4「各施設の就業規則の整合性の確認と必要な整備」は、昨年顧問契約を締結した原田社労士のアドバイス等により、大きく改善が図られた。

また、No.5「法人全体で取り組むべき規程等の整備」についても、No.4と同じく原田社労士のアドバイスにより、法人のハラスメント防止規程と懲戒規程を作成し、施行するに至った。この他、公印規程も制定した。

また、定款施行細則、役員等報酬規程、経理規程の改正も行うなど、法人のガバナンス強化を図るための礎である法令の整備が大きく進展した。

目標を達成できなかった2つのうち、No.1「中長期的な事業運営及び施設整備計画の策定のためのヒアリングを実施」は平成29年度からの継続課題であるが、国の児童養護施設に対する方針（社会的養育ビジョン）が大きく変わった後、未だ今後の方向性が不透明なことを受け、計画策定のための個別のヒアリングは行わず、まずは全体会議を行い、各施設の整備方針を確認するところから始めることとした。

残る1つNo.6「法人全体の横断的な連携方法について検討」は、施設間交流のあり方について、「これまでの年2回実施を1回にすること」、「今後は開催方法も見直す方針」としたが、コロナ禍の影響で開催自体ができなかった。

最後に、取り組みの項目には上がっていないが、継続課題となっている「つぼみ保育園の運営の健全化」について、令和2年度中に綾瀬市から運営改善に係る指摘がされるなどの課題が上がり、指摘事項への対応状況との改善目標について、改善（中間）報告書を綾瀬市に提出した。

つぼみ保育園は、未だ継続して法人の支援が必要であり、摩尼理事のサポートのもと、施設運営の健全化に取り組んでいる状況である。

その他、今年度は大きな事案として、次の3件を主導又は支援した。

- 唐池学園の隣接地（土地4筆）の購入
- つぼみ保育園 給食調理業務委託の入札及び委託契約
- ZOOMの導入と普及・啓発

○ 取り組みの結果

No.	項目	進捗状況	達成度	備考
1	中長期的な事業運営及び施設整備計画の策定のためのヒアリングを実施	今年度も今後の方針を示すのみに終わった。来年度、全体会議を行い各施設の意向を確認する方針とした。	△	*児童養護施設の整備時期が未だ不透明なため
2	会報「雑品倉庫」の発行継続と内容の充実を図る	R2.7月発行 内容の充実が図られた。 バックナンバーを併せて配布する等の工夫を施した。	◎	2,000部 *3年間継続発行 *寄附金・件数の増
3	財務規律の強化のための会計研修及び予算・決算ヒアリングを強化	・会計研修を1回開催 ・予算及び決算のヒアリングを実施した。 ・経理規程の齟齬の見直し	◎	賞与引当金の計上をR2決算から開始。
4	各施設の就業規則の整合性の確認と必要な整備を図る	原田顧問社労士のアドバイスのもと各施設の就業規則の点検・修正作業を実施した。	◎	強羅暁の星園と保育所の作業が完了。
5	法人全体で取り組むべき規程等の整備を図る	ハラスメント防止規程、懲戒規程、公印規程を制定。定款施行細則と経理規程等の改正、他。	◎	順調に整備が進んでいる。
6	法人全体の横断的な連携方法について検討する	・施設間職員交流会のあり方を協議した。コロナ禍のため開催できなかった。	△	コロナ禍等における施設間交流の目的と方法について継続検討する。
7	法人全体の人材育成の強化を図る	・新任職員研修1回 ・中級職員研修0回 ・会計担当者研修1回 ・労務管理研修2回 ・ZOOM研修1回	○	コロナ禍のため、新任及び中級職員研修が計画どおり開催できなかった。 その他の担当者向け研修に一定の効果が見られた。
8	地域における公益的な取り組み「吉岡買物支援プロジェクト」協力の継続	毎週火曜日、月1回土曜日に実施。ただし、緊急事態宣言中は中止。 車輛及び人員の貸出し。	○	実施時の効果が高く、今後も協力を継続。

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、計画した研修を予定どおり実施することができなかった。コロナ禍の中、ZOOMを活用しての開催も検討したが、対面による研修開催を重視することを法人の方針とし、3月12日になってようやく令和2年度採用職員の半数を対象に、新任研修を開催した。残る半数（強羅暁の星園）は、年度が改まった4月7日に開催した。採用からほぼ1年を経過しての研修であったが、一定の効果が見られた。中級職員研修は実施できなかった。

その他、法人主導で実施した会計研修では、これまで未対応だった賞与引当金について学び、令和2年度決算から計上することになったことは大きな前進であった。

また、令和3年4月1日からの規程施行に先立ち、職場のハラスメント防止に関する研修を2回実施し、見識を深めた。そして、コロナ禍において有用性の高いZOOMの操作方法について研修を実施し、担当者のスキルアップと普及啓発を図った。

2 研修実績報告

実施時期	実施内容	対象職員
10月8日(木)	社会保険労務士研修&相談会 テーマ：「ハラスメント防止規程の適用と取扱いについて」講師：原田恵一先生（相談顧問）	労務管理者及び担当者 10名
10月16日(金)	IT研修 Zoom運用者(ホスト)向け 講師：SB C&S 原田氏(リモート) 富士ゼロックス神奈川(株) 大野氏、荒井氏	担当職員 12名
1月15日(金)	会計研修「賞与引当金について」 講師：西迫会計事務所 石井智久氏	会計担当者 8名
3月12日(金)	ハラスメント防止研修 講師：原田恵一先生（相談顧問）	各施設担当者等 11名
3月12日(金) 4月7日(水)	令和2年度 新任職員研修 ・「福祉人としての基本的な心得」 鶴飼理事長 ・「人権擁護と虐待の防止」 貴志園 田中部長	3/12：7名 4/7：8名

○ 年間行事等報告

1 会議等

実施月日	名称等	内容等
4月21日 (中止)	第三者委員会	第三者委員（主任児童委員）3名 ※4/21付で資料等を発送。電話で概要等説明。
5月14日 19日	監事監査	長井監事（計算書類等の会計全般） 柏倉監事（事業報告等の業務全般） <u>Skypeにて</u>
5月23日 <u>Skypeにて</u>	第1回理事会	【決議事項】 ① R1(H31)事業報告・計算書類等の承認 ② R2 第1次収支補正予算の承認 ③ 定時評議員会の招集 ④ 貴志園 第二椿地蔵ホーム事業所 サテライト事業の廃止の件 【報告事項】 (1) 理事長の職務の執行状況

実施月日	名称等	内 容 等
6月8日提案 6月17日同意	定時評議員会 (決議の省略)	【決議事項】 ① R1(H31)計算書類・財産目録の承認 【報告事項】 (1) R1(H31)事業報告
9月25日提案 10月1日同意	第2回理事会 (決議の省略)	【提案事項】 ① 児童養護施設唐池学園の懲戒委員会 規程に基づく委員の選出
10月30日	第3回理事会	【提案事項】 ① 令和2第2次収支補正予算の承認 ② 評議員選任・解任委員の再任の件 ③ つぼみ保育園の給食業務委託への移行及 び入札の件 ④ 貴志園の運営規程の変更の件 ⑤ 吉岡保育園の園規則の変更の件 ⑥ 児)唐池学園の改善計画承認の件 【報告事項】 (1) 理事長の職務の執行状況 (2) ハラスメント防止規程について
12月3日	第4回理事会	【決議事項】 ① つぼみ保育園の給食業務委託契約締結の 件 ② 唐池学園の隣接地購入の件 ③ 貴志園の新型コロナウイルス感染症の罹患者対応 簡易居室建設の件 ④ R2第3次補正予算案の承認の件 ⑤ ドルルスベビーホームの就業規則変更の件 ⑥ 吉岡・つぼみ 保育園規則の変更の件 ⑦ ドルルスベビーホーム管理規程の変更の件 ⑧ 法人の重要な職員の選任の件 ⑨ 評議員会の招集の件
12月4日提案 12月10日同意	第2回評議員会 (決議の省略)	【決議事項】 ① 貴志園の新型コロナウイルス感染症の罹患者対応 簡易居室建設の件 ② 唐池学園の隣接地購入の件
1月25日	第5回理事会 (招集手続の省略)	【決議事項】 ① ドルルスベビーホームの新型コロナウイルス感染症罹患 者の分離個室増築の件 ② 評議員会の招集の件
1月25日提案 2月2日同意	第3回評議員会 (決議の省略)	【決議事項】 ① ドルルスベビーホームの新型コロナウイルス感染症罹患 者の分離個室増築の件

実施月日	名称等	内 容 等
3月9日	第6回理事会	【決議事項】 ① R2 第4次補正予算案の承認の件 ② R3 年度事業計画案の承認の件 ③ R3 年度収支予算案の承認の件 ④ 定款変更の件 ⑤ 定款施行細則の変更の件 ⑥ 経理規程の変更の件 ⑦ 評議員選任・解任委員会運営規程の変更 ⑧ 役員等報酬規程の変更の件 ⑨ 公印規程の制定の件 ⑩ ハラスメント防止規程の制定の件 ⑪ 懲戒規程の制定の件 ⑫ 各施設の就業規則の変更の件 ⑬ つぼみ保育園の園規則の変更の件 ⑭ 役員賠償責任保険契約の締結の件 ⑮ 神奈川県指導監査指摘事項の改善報告 ⑯ 貴志園の運営規程の変更の件 ⑰ 貴志園の管理者変更の件 ⑱ 法人の重要な職員の選任の件 ⑲ 評議員会の招集の件 【報告事項】 (1) 児童養護施設唐池学園の改善計画の件 (2) つぼみ保育園の運営課題の件 (3) 改正-高年齢者等の雇用の安定等に関する法律への対応に関する基本方針
3月9日提案 3月18日同意	第3回評議員会 (決議の省略)	【決議事項】 ① 定款の変更及び理事及び監事の報酬等の額の件 ② 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準の件

2 指導監査

実施月日	施設名称等	内 容 等
11月12日	法人 唐池学園 ドルカスベビーホーム	現地での口頭指摘あり (改善済み) 現地での口頭指摘あり 現地での口頭指摘あり
11月25日	吉岡保育園 つぼみ保育園	指摘事項なし 現地での口頭指摘あり
12月1日	貴志園	文書指摘1件 (改善済み) 現地での口頭指摘あり

3 委員会

実施月日	名称等	内 容 等
4月21日 <u>Skypeにて</u>	広報・研修委員会 (第1回)	① 会報「雑品倉庫」の構成等 ② 施設間交流会について
7月20日 <u>Skypeにて</u>	広報・研修委員会 (R2第2回)	① 会報「雑品倉庫」配布方法等 ② 施設間交流会のあり方
8月24日 <u>Skypeにて</u>	広報・研修委員会 (R2第3回)	① 雑品倉庫配布状況の確認 ② 施設間の情報交換 ③ 今後のWEB会議について ④ 法人の研修について
9月28日 <u>Skypeにて</u>	広報・研修委員会 (R2第4回)	① 新任職員研修 ② 施設間の情報交換
10月8日	懲戒委員会	① 児)唐池学園の児童指導員の懲戒処分 ② 施設長の管理責任について ※10月9日 委員長から理事長に答申
10月26日 <u>Zoomにて</u>	広報・研修委員会 (R2第5回)	① 新任職員研修 ② Zoomの活用について ③ 施設間の情報交換
3月24日 <u>Zoomにて</u>	広報・研修委員会 (R2第6回)	① 会報「雑品倉庫」第70号の構成等 ② 今後のスケジュールについて

4 その他

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	辞令交付	新任職員22名、昇格等8名 * 理事長が各施設を回り交付 * 強羅暁の星園は佐藤園長から代理交付
通年(随時)	法人運営会議 (施設長会)	実施月：4/23(Skype)、5/18(Skype)、8/25、 9/24、1/25、2/9 (計6回)
通年(随時)	事務担当者会議	実施月：4/9・13(分割開催)、6/19(Skype)、 9/11、10/16、12/15(ZOOM)、1/15(ZOOM) (計6回)

○ 全体の総括

長期化するコロナ禍の生活は、子どもも職員も大きなストレスを受け続けている。不自由な中でも楽しめることを考え工夫してきたが、中学生男子を中心とした園内での子ども同士のトラブルや危険な遊びへの対応に追われることが多かった。

また職員による児童への施設内虐待も再び起こしてしまい、その対応にも苦慮した。子どもたちをはじめ保護者や関係機関に不信を抱かせてしまったが、加害となった職員が以前より落ち込んでいた様子があったことへの対応の遅れも含めて再発防止委員会が主となり具的的な対策に取り組むことにしている。

担当職員3名体制を全部屋で始めた年度であったが、職員間の意思疎通の難しさも現れている。子どもたちの支援が手厚くなったことは評価できる一方、年齢や経験のギャップが溝にもなってしまっている。職員集団としてはかなり肥大化していることも意思統一を図る難しさに繋がっており、職員のチームワーク作りは次年度の大きな課題である。

○ 取り組みの結果

1 子どもへの支援

(1) 安全、安心な生活の保障

- ・夜間は複数の職員で子どもに関わることが増えた。高齢児との時間も取りやすくなっている。
- ・コロナ感染対策を習慣化させてきた。レクの予算を日常生活の充実に回すことができた。また厨房からの毎週の手作りおやつを提供が楽しみとなっている。
- ・職員による施設内虐待を起こしてしまった。該当の部屋の子どもの聴き取りは学園だけでなく児相も行った。子ども間でも暴言威圧があり、児相に協力を仰ぎながら対応している。
- ・予算化はしたが修理はできていないため次年度に計画。非常用品の整備は着手。

(2) 課題ある子どもは取り上げて対応を検討してきたが、対応に苦慮することが多い。

(3) 下着の取り扱いの指導や生理の時の対応等具体的に教えている。

(4) 卒園前の自活体験やGHでの生活体験により、自立の不安を和らげるようにした。

(5) 可能なケースは保護者や児相と協力して生い立ちや家族について話す場を持った。

2 親・家族との関わり

(1) 職員による施設内虐待があり、被害の親族とのやり取りが難航した。地道に信頼の回復に努めていかなければならない。交流制限の状況下、毎月の学園だよりでは写真を多用し子どもたちの生活の様子を知ってもらうようにした。

(2) コロナ禍で保護者交流を制限するが、協力してもらっている。

(3) 保話し合いに参加している保護者は多くなっている。生い立ち整理に協力してくれる保護者もあるが、足並みを揃えるのが難しい保護者もある。

3 地域や他機関等への支援、及び連携

(1) 子育て支援の社会資源としての役割

- ・地域の活動は中止が多かったが開催した場合はできるだけ参加した。
- ・対外行事が中止となり、ボランティアをはじめ地域の人との交流の場がなかった。
- ・可能な会には参加したが、例年に比べ里親と交わる機会はほとんど中止となった。

(2) 関係機関との連携、協力

- ・コロナ禍で出遅れはあったが、児相との自立支援計画策定は前半にできた。家族交流についての相談や調整の連絡もこまめに行った。
- ・学校や幼稚園との全体連絡会は実施できなかったが、個別での連絡を行った。
- ・貴志園には GH 移行の支援に協力してもらった。ドルカスとは心理士同士が定期的に話し合いを持っている。卒園生の件ではあすなる SS に協力を協力してもらう。
- ・地域行事は中止が多く連携協力の機会は少なかった。

4 職員の資質の向上

- (1) ・子どもへの対応について多くの時間を割いたが、制限や抑制の意識が強かった。
 - ・子どもへの権利侵害が起き、権利擁護への取り組みや職員育成の課題は残った。
 - ・子どもたちの園内での生活が長く、目の前のトラブルの処理に追われがちだった。
- (2) ・年代や経験により、会議への意識に差があり、様々な意見が言えるよう工夫が必要。
 - ・再発防止の話し合いは少人数で実施。ケーススタディの実施は少なかった。

○ 職員構成

令和3年3月31日現在

	施設長	FSW	里親支援 専門相談員	職業 指導員	保育士 指導員	心理士	事務	栄養士	調理員	合計
常勤	1	2	1	1	26	1	1	3		36
非常勤					10	2	1		4	17

○ 定員等

令和3年3月31日現在

区分	本園	GH よんの家	GH なの家				合計
定員	45	6	6				57
暫定							
現員	41	5	6				52

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 新任職員の育成

- ・日常業務の中での育成は各部屋任せとなってしまう、今後の課題である。
- ・若手職員には研修や意見交換の場が少なく、閉塞感は大きかったと思われる。

(2) 職員全体の質の向上

- ・3人体制は各部屋の特徴が強くとスムーズに運んでいない部屋もあるが、よい点に目を向けてチーム作りをしていきたい。
- ・外部研修がほとんど中止となったが、例年比べ園内研修を充実できた。
- ・施設内虐待は職員が悩みを抱え込んでいたことも大きく、困り感を拾う場が必要。
- ・子どもの対応に担当以外の職員が協力し合う場面が非常に多くなっている。

(3) 建て替えに向けて取り組み

- ・建て替えに向けての話し合いは進められていない。「社会的養育推進計画」は国の進み方が速く現場との差を感じているが、動向に気をつけて計画の検討を行いたい。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1・2	新任職員オリエンテーション	山下,堀口,本間、田村
8/17	中高生インターネットネット研修	中高生・ケース職員等
10/5・6	新任職員オリエンテーション	橋本
10/30	CAP 研修	勝又、宮内、松川、 三浦、千葉、山下 堀口、本間
5/20 6/17 7/22 10/21 1/27	研修係主催研修①「生い立ちについて」 ②「食の安全・感染予防」 ③「伝える力と考える力」 ④「職員レク・新任歓迎会」 ⑤「食物アレルギーの対応」	ケース職員希望者 (各部屋 1, 2 名) " 全職員 ケース職員、栄養士

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
10/8 3/12	法人主催「就業規則・ハラスメント規定」 研修「ハラスメント防止」 「新任職員研修」	原瀬、大西 鶴飼、加園、風間、 松尾 山下、堀口、本間 (田村、橋本)
10/27	全国里親会研修	鶴飼、加園
10/30・11/13	県社協主催新任研修「人権研修」 〃 施設長研修「人権研修」	堀口、本間 鶴飼
12/2	児童相談所「時保護の業務理解」	千葉
11/17・12/5 1/29・2/9,24 2/25	栄養士研修会「子どもの食育支援」 (ズーム) 栄養士会研修	田村 田村 田村、橋本

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	1・2日 新任職員オリエンテーション 6日 中1入学式 始業式 7日 小1入学式 8日 幼稚園入園式 入学進級祝う会食	1日 法人辞令交付 10日 小学校支援級懇談会
5	5日 子どもの日メニュー昼食 11日～小中学生分散登校開始 職員健康診断	11日 法人第三者委員会 23日 法人理事会 25日 幼稚園との話し合い
6	4・15日 厨房害虫駆除 6日 リーダー会議主催「かき氷」 26日 厨房会議	19日 中1担任との情報交換会

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
7	20日 実習生オリエンテーション 23日～幼稚園夏休み	
8	8日～ 夏休み 10日 小学生高学年レク（花火） 15日 バーベキュー&花火大会 16日 夜間避難訓練 17日 中高生研修会（スマホについて） 24日 始業式 児童健康診断（～9月）	
9	1日 幼稚園始業式 炊き出し訓練 4日 厨房会議 9日 職員採用面接 30日 中学校体育祭	
10	5・6日 新任職員オリエンテーション 12日 小学校運動会 14日 職員採用面接 15・16日 小3～5CAP研修 18日 幼稚園運動会 31日 園内ハロウィンパーティー	1日 辞令交付 8日 法人研修 30日 法人理事会
11	9日 厨房会議 12日 県監査 14・19日 インフルエンザ予防注射接種 17日 小6修学旅行 18・19日 小1、2CAP研修	
12	3・14日 厨房害虫駆除 12・20日 大掃除 24日 クリスマス会（各部屋） 26日～冬休み	3日 法人理事会
1	1日 元旦祝賀会（各部屋） 6日 学校始業式 11日 成人の日（R子） 22日 第三者評価事業訪問調査	
2	2日 節分・豆まき（各部屋） 11日 幼稚園造形展 中3入試	
3	5日 厨房会議 8日 中3卒業遠足 11日 中3卒業式 *高3、かなテク卒業式 18日 幼稚園卒園式 19日 小6卒業式、幼稚園修了式 卒業生を祝う会（各部屋） 25日 学校修了式	9日 法人理事会 12日 法人研修、法人新任職員研修 25日 法人宿舍避難訓練 （よんの家参加）

令和2年度 強羅暁の星園 事業報告書

○ 全体の総括

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスによって、着実に前進を続けてきた施設の取り組みもストップする事態が相次いだ。東京オリンピック・パラリンピック延期に伴う、建て替え計画はもちろん、ボランティアや支援を継続して下さっていた近隣のホテルや保養所は、廃業に追い込まれ交流もストップ。子ども達も自由な外出や家族との交流が制限された上に、施設や学校行事もほとんどが中止となり、窮屈な生活を強いられた。

その結果、春から夏にかけて無断外出が続き、20年ぶりに高校中退者を出してしまう等、感染者を出さず耐えたが故の、反動が大きかった1年だったと言える。

目に見えない戦いは、いつまで続くのか・・・

放出する場を失った元気と若い力が、今にも吹き出しそうに終息の時を待っている。

静まり返る観光地箱根山に、薫染の噴火を施設から起こす日はもう遠くないだろう。

○ 取り組みの結果

①調理の外部委託開始

御殿場市内に本店のある(株)三和フーズに外部委託を開始。例年より費用は多くかかったものの緊急事態宣言中、急遽子ども達全員の食事が必要だった際も食材の調達や勤務の調整など、適宜対応してもらい難を逃れることができた。

②看護師に採用に伴う医療体制の見直しと強化

新型コロナウイルスの感染防止対策のマニュアル作成から始まり、通院引率はもちろん、感染疑いのある職員や児童を率先して対応する等専門職としての力を存分に発揮し、他施設の看護師との連携は図れなかったものの、すでになくってはならない存在となっている。

③箱根町子育て支援事業の連携と一部事業の受託開始

事業の受託開始までには至らなかったものの、現状の取り組みを確認しながら協議を重ね、町の子育て支援におけるニーズの把握に努めた。

○職員構成

令和3年3月31日現在

職種	園長	統括主任	事務員	指導員 保育士	家庭支援 専門相談員	里親支援 専門相談員	個別対応 職員
常勤	1	1	1	16	2	1	1
非常勤	0	0	1	0	0	0	0
職種	自立支援 担当職員	看護師	栄養士	心理士	嘱託医	合計	総数
常勤	1	1	1	0	0	26	28
非常勤	0	0	0	0	1	2	

○定員等

定員50名(神奈川県47名 相模原市3名) 現員47名

令和3年3月1日現在

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男	2	1	1	0	2	0	0	1	2	2	4	3	2	2	0	22
女	3	2	2	1	3	1	1	2	3	2	1	3	1	0	0	25
計	5	3	3	1	5	1	1	3	5	4	5	6	3	2	0	47

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

研修や交流のほとんどが新型コロナウイルスの影響で、中止。園内で出来る範囲の研修とオンラインによる研修に留めるしかない状況が続いた。

他施設でも中堅以上の職員ですら慣れないコロナ禍の環境において精神的に追い詰められ休職者が多く出ていた今年度、新任職員が多い環境は、不安が多かった。しかし前年までの経験がないが故に、当然かのように日々をこなし「あまり不安はない」と答える新任が多くいた点は心強い限りだった。子どもも職員も外出機会が減り、関係性が密になった影響でコミュニケーションを図る機会が増えたが故に、課題だったOJTが機能した1年だったのではないだろうか。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員数
4月22日	新任職員向け園内研修会	9名
10月1日	不適切な関わりの再発防止に向けて	6名
10月12日	不適切な関わりの再発防止に向けて	9名
10月21日	新任職員研修 コミュニケーション力を磨く	9名
11月18日	中堅職員研修1回目 信頼される聴き方	8名
12月2日	中堅職員研修2回目 質問スキルを磨く	8名
1月13日	中堅職員研修3回目 モチベーションアップ	8名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
10月8日	法人内研修「ハラスメント防止規程の適用と取扱いについて」	2名
10月30日	神奈川県中央児童相談所主催「人権研修」(新任)	2名
10月16日	法人内研修「ZOOM運用者(ホスト)説明会」	2名
11月12日	神奈川県中央児童相談所主催「人権研修」(中堅)	2名
11月13日	神奈川県中央児童相談所主催「人権研修」(新任)	2名
12月4日	神奈川県中央児童相談所主催「人権研修」(施設長)	5名
1月6日	神奈川県児童福祉協議会・全国児童心理施設協議会主催「中堅職員研修会」	4名
1月7日	神奈川県児童福祉協議会・全国児童心理施設協議会主催「中堅職員研修会」	4名
1月15日	会計研修会「賞与引当金研修会」	1名
2月17日	里親センターひこばえ主催「里親支援専門相談員研修会」	1名
2月25日	児童福祉施設協議会主催「第1回栄養士研修会」	1名
3月12日	法人内研修「ハラスメント防止のための考え方と就業規則の解釈」	2名

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	中止	保育園入園式 小・中・高入学式
5	児童職員健康診断 施設内レク大会	
6		
7		中学校三者面談 終業式 夏休み
8	夏の帰省	中学校環境整備
9		始業式

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
10	児童職員健康診断 園内ハロウィン 消防署立会い訓練	保育園運動会 小学校運動会 中学校文化活動発表会
11	お墓参り 七五三	中学校通学路清掃 箱根町交歓子ども会
12	園内クリスマス会 冬の帰省	小学校修学旅行 終業式 冬休み 強羅自治会地区清掃
1	職員新年レク どんど焼き	始業式
2	節分 あすなろ作品展	
3	ひなまつり 卒園を祝う会	中3お別れ遠足 小・中・高卒業式
その他 ・各種予防接種（随時） ・誕生日会&バースデイ外出（随時） ・避難訓練（毎月）		

○ 全体の総括

第2駐車場、芝生の養生が終わり、遊び場エリアあずまやが完成した。共同募金を受けて排煙窓の修繕を行った。非常用倉庫を新たに設置、防災マニュアルの作成を開始した。

今年度5名採用するも年度途中で2名退職したことにより、年間を通して職員数の余裕はなかった。夜間のパート職員と日中の非常勤職員を採用することで大きな支障なく勤務を補うことができた。ただ、新型コロナウイルスの対応に伴い、緊急入所の際や入所児童、職員の体調不良の度に対応に追われた。例年に比べ入所児数が少なかったこともあり、職員総出で隔離体制、勤務フォローを担い乗り切ることができた。

養育の質の向上と平準化を図る為、各種マニュアルを作成中であり、完成したマニュアルは新任職員の指導に活用を開始した。職員のメンタルヘルスにも更に力を入れた。

○ 取り組みの結果

1. 養育の質の向上・養育環境の整備

(1) 新型コロナウイルスの為、会食等のイベントを縮小したことにより、厨房職員の仕事内容の見直しを行い、食育の機会が増えた。日々の養育に入ることで、発達に応じた食事の提供をスムーズにおこなうことができ、入所児の興味に合わせた食育に取り組む機会が増えた。

(2) 新型コロナウイルス対応の為、面会の受け入れを見直した。密を防ぐ為、1家庭週1回、1日2組、2時間の時間制限を設けて受け入れを行った。保護者から面会内容の要望が出た際には家庭復帰予定の状況に合わせて柔軟に対応した。面会のケアが必要な家庭も多いため、制限を行ったことで丁寧な対応ができるようになった。親子関係、職員との関係においても信頼を築く大事な時間となっている。アフタフォロー等、手厚い対応ができています。

2. 職員の意思疎通を図る

(1) 日中のグループ会議を継続中。新型コロナウイルスの影響により、会議を見送ったこともあった。緊急事態宣言等、情勢の変化にて対応の変更がありその都度、回覧板を活用し情報の共有を行った。

(2) 新型コロナウイルスの対応について、随時話し合い連携を図った。

3. 子どもの権利擁護という視点での養育

(1) 「人権ヒヤリハット」「人権にやりホット」アンケートを継続実施し、日頃の養育の振り返りにつながっている。

4. 職員のメンタルヘルス

(1) 臨床心理学博士テリー先生による面接を月1回2名実施。第3者に相談できる場が職場内にあることでメンタルヘルスに繋がっている。

5. 里親・里子支援

(1) 里親委託後の相談やフォローを見相、CWと連携して共に取り組む機会が増えた。

6. 修繕及び整備内容

- (1) 第2駐車場・遊び場エリアあずまやが完成
- (2) 排煙窓修繕
- (3) 非常用倉庫設置

○ 職員構成

令和3年3月31日現在

	施設長	家庭支援専門 相談員	里親支援専門 相談員	心理 相談員	事務員	里親センター
常勤	1	2	1	1	1	1
非常勤					1	2

	看護師	保育士	児童指導員	栄養士	洗濯・掃除	嘱託医	合計
常勤	3	19	3	4	0	0	35
非常勤	2	4	1		4	1	14

() は、うち産休育休中職員

○ 定員等

令和3年3月31日現在

定員 25名 現員は下表

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		合計
措置児	5名	5名	3名	名		13名
一時保護児	2名	3名				5名
レスパイト						

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 全国乳児福祉協議会研修体系に基づいた人材育成を取り入れ、職員のレベルに合わせた研修に参加できるように計画を立てたが、新型コロナウイルスの影響を受けて多くの研修が中止となった。オンラインで開催されたものには参加した。

(2) マニュアルは作成中。完成したマニュアルについては、新任指導にて活用を開始している。評価については来年度検討をしていく。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

	実施日	研修名	受講職員
法人	4/1	新任職員オリエンテーション (於ドルカス)	石井・中野・古屋・関野・小田
	3/12	ハラスメント防止 研修	矢内・藤井・佐々木
	3/12	新任研修	中野・古屋

(2) 施設外研修

	実施日	研修名	受講職員
県内乳児院関係	8/21	看護師合同研修会(於 県社協)	栗原・川上
	7/21	合同研修(於 県社協) 【鈴木晴子氏】 「養育の中の遊び」	菅原・川上
	9/24	事例勉強 【竹内直樹氏】	川上・金木・藤井 柏木・佐々木 栗原
	11/16	合同研修(於 県社協) 【興津祥子氏】 「見立て8型 はやわかりセミナー」	川上
全乳関係 ブ ロ	1/12	乳児院医療・看護セミナー	栗原
	2/14	全社協 オンライン	
	2/5	上級職員セミナー オンライン	小林み
子どもの虹	2/5	乳児院職員 指導者研修 オンライン	木股
その他	10/30 11/13	児童福祉施設職員研修 (人権研修) 新任	中川
	1/7	中堅職員・チームリーダー専門研修会 オンライン	真島
	3/19	ストレスマネジメント研修 Zoom 研修	小林し

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容		
	養育	食育	地域交流
4月	お花見 遠足・誕生日会	お食い初め	
5月	子どもの日の会 菖蒲湯 遠足・誕生会	子どもの日献立 お食い初め	
6月	遠足・誕生会	お食い初め	
7月	七夕会 遠足・一泊旅行	七夕献立・お食い初め 土用の丑の日：ウナギ	
8月	スイカ割り 花火 遠足・誕生会	お食い初め 土用の丑の日：ウナギ	
9月	バーベキュー 遠足・誕生会	バーベキュー：流しそうめん 焼き芋 お食い初め 3回	
10月	お月見会 ハロウィン 運動会 遠足・誕生会	お食い初め ハロウィンランチ	
11月	遠足・誕生会 お楽しみ会	お楽しみ会：バイキング	
12月	クリスマス会 冬至（柚湯） 遠足・誕生会	クリスマス：食事会 大晦日：年越しそうめん	
1月	元旦・初詣 遠足・誕生会	元旦：おせち料理 七草粥・鏡開き お食い初め	初詣
2月	節分豆まき 遠足・誕生会	節分：恵方巻 お食い初め	
3月	ひな祭り 遠足・誕生会 総合避難訓練（唐池と合同）	ひな祭り：てまり寿司	
毎月恒例：防災訓練・身体測定・嘱託医健診			

令和2年度 吉岡保育園 事業報告

○ 全体の総括

- ・コロナ禍で活動の自粛が多く園外活動も制限した中、富士サファリーパークへバス遠足ができたことは子どもたちへの思い出となった。幸い、園庭の拡張工事で広くなり自然環境を生かし、のびのびとあそぶことができたことは良かった。
- ・配慮の必要な子供も多いことや保護者対応等、職員の負担軽減も考慮し3, 4, 5オクラス（異年齢クラスの担当も兼務）それぞれの担任の配置とした。結果ひとり一人の成長発達が把握しやすくなった。
- ・コロナ禍で長年続けてきた山登りを自粛しなければならず心残りであったが、感染の対策や規模を縮小し運動会や発表会、卒園式などの保護者参加の行事を開催することができた。

○ 取り組みの結果

- ・近隣や保育園内の自然環境を通しての小動物や、草花、土水、作物栽培等の体験活動等、子ども主体の活動を多く取り入れることができ、子どもの意欲を大切にしながら主体的、対話的で深い学びへと繋げられた。
- ・体育講師は月1回の外部委託で行った。体全体を使った運動遊びや集団遊びが講師と共に人気だった。保育士も一緒に実践を体験することで、日頃の保育のスキルアップにも繋がった。
- ・保護者や地域の方々への子育ての支援に取り組みは、コロナ禍で開催が難しい中、5歳児親子を対象に、園庭でどろ団子づくり、焼き芋づくり、さつま芋のツルでリースづくりを行い、保護者からは感謝の声が聞かれ、職員も励みになった。
- ・配慮の必要な子どもの対応の研修を職員全員で参加とし、講師の先生方の園内研修が難しい中、増田まゆみ先生にご講義頂き、配慮の必要な子どもの理解に繋がった。
- ・研修テーマ「新たな時代の保育実践～幼児期までに終わりまでに育ててほしい10の姿について」は月1回の研修を行い、実例など読み合わせにより理解を深め、日々の保育にも活かすことができた。令和3年度の神奈川県事業大会の研修発表に向けて、【自然とのかかわりの・生命の尊重を通して】は、まとめの段階である。

○ 職員構成

令和3年3月31日現在

	施設長	保育士	看護師	栄養士	栄養士兼調理員	事務員	保育補助者
常勤	1	9			2		
非常勤		9				1	2

○ 定員等

令和3年3月1日現在

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
人数	10	12	13	12	14	16	77

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取り組み

(1) 会議

- ア 月2回以上の以上児、未満児会議を行い、ケースや保育内容等の話し合いを行う
- イ 月1回全体の行事予定会議やケースについて話し合う
- ウ 月1回保育内容等の研修会議を行う

(2) 研修

- ア 園内研修として、(非常勤含) 防犯、防災、救急救命、人権、事故防止、保育内容については、新型コロナウイルス感染症のため独自にて研修を行った。
障害児研修、保育内容研究発表に向けての研修として増田まゆみ先生に講師依頼し、ご講義頂いた。
- イ 施設外研修として、ポピンズの研修は web 研修で参加。神奈川県保育会主催研修は対面研修。綾瀬市保育会主催研修は、2 施設の見学、及び乳幼児救急救命研修の実施。初級、中級保育士、施設長対象の対面の研修は難しく、それぞれの職員が専門書を選び研修し報告書の提出とした。

2 研修

(1) 施設内研修

実施時期	実施内容	対象職員
4月	人権、保健衛生計画についてについて 保育内容について・保育全体計画確認 守秘義務について	常勤・非常勤職員
5月	保育内容・自然との関り	常勤・非常勤職員
6月	園庭について 新型コロナウイルス対策 保育内容 (幼児期までに育てほしい 10 の姿) ア、健康な心と体*自然のかかわり、生命尊重	常勤・非常勤職員
7月	水害マニュアル 保育内容 (イ) イ、自立心 *自然のかかわり、生命尊重	常勤・非常勤職員
8月	救急法 保育内容 (ウ) ウ、協調性 水害地震マニュアル	常勤・非常勤職員
9月	振り返り アレルギーのエピペン対応の DVD 視聴 保育内容 (エ) エ、道徳性・規範意識の芽生え *自然との関わり、生命尊重	常勤・非常勤職員
10月	基本的信頼関係の形成 障害児研修…講師「増田まゆみ先生」 保育内容 (オ) オ、社会生活との関わり ヒヤリハット	常勤・非常勤職員
11月	保育内容 (カ) カ、思考力の芽生え *自然との関わり、生命尊重	常勤・非常勤職員
12月	振り返り 保育内容 (キ) キ、自然との関わり、生命尊重	常勤・非常勤職員
1月	保育内容 (ク) *自然との関わり、生命尊重 ク、数量、図形、標識や文字などへの関心・感覚	常勤・非常勤職員
2月	救急救命について (エピペン、救命法 保育内容 (ケ) *自然との関わり、生命尊重 ケ、言葉による伝え合い	常勤・非常勤職員
3月	期、年間の振り返り 保育内容 (コ) *自然との関わり、生命尊重 コ、豊かな感情と表現 新任研修 25日～31日	常勤・非常勤職員

(2) 施設外研修

実施時期	実施内容	対象職員
4月		
5月		
6月		
7月	救急救命研修(綾瀬市保育会主催) キャリアアップ研修	難波、北村 北村
8月	中堅保育士研修(綾瀬市保育会主催) キャリアアップ研修	濱田 北村
9月		
10月	キャリアアップ研修	北村、難波、高田
11月	事務研修	菊池
12月	キャリアアップ研修	北村、高田
1月	キャリアアップ研修	高田
2月	キャリアアップ研修	高田
3月	法人新任職員研修	村井、加藤

年度年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園進級式（ 1日） *誕生会 ●お弁当の日（28日） ・各種野菜の種まき等 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・尿検査 ・避難訓練総合（18日） ●お弁当の日（29日） *誕生会 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ◎じゃが芋掘り・ *誕生会 ・内科検診 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き・花火教室（1日） ・七夕まつり（7日）★夕涼み会子どものみ（22日） *誕生会 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ組ワンデーキャンプ（21日） *誕生会（27日） 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ★引き渡し訓練（1日） *誕生会（24日） 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・内科検診（6日） *誕生会・バイキング給食（22日） 	★わくわく広場（24日）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜収穫・芋掘り（11日）・収穫祭（12日） *誕生会 ・藍染め（2日） 	・まつ、さくら組バス遠足「富士サファリーパーク」（6日）
12	<ul style="list-style-type: none"> ◎発表会 ・クリスマス会（24日） ・もちつき（22日）・個人懇談会まつ組 ・書初め 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ●お弁当の日（4日）・どんど焼き（14日） ★個人懇談会（除まつ） ・切り干し大根作り（11日）・味噌づくり（27日） *誕生会（21日） 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき（3日） ・お店屋さんごっこ（18日） *誕生会 	・マラソン大会
3	<ul style="list-style-type: none"> *ひな祭り誕生会（3日）交通安全教室（16日） ・お別れ会（18日） ★卒園式（13日）お茶会 	・まつ組お別れ遠足（19日）
<p>その他 行事の保護者参加は人数を制限 ・…子どもの活動 <毎月1回>・身体測定（20日）・避難訓練・外部講師（リトミック・えいごであそぼう・体操教室） <5月から随時>・保育参加…中止 <10～6月> ●お弁当の日 <毎週1回>・園内開放…中止 <年間4回>・つぼみとの交流保育…中止</p>		

○ 全体の総括

- ・新規採用保育士、栄養士の採用が出来なかった。保育士は派遣保育士を増やすなどの対応になった。調理師の採用は出来たが、8月末での退職になる。給食は業務委託と自園での給食提供の両方で検討していたが、職員採用が出来ず業務委託になる。市、他園、法人、多くの方々のおかげで移行ができ、令和3年度4月からの給食提供は出来ている。
- ・職員の途中採用は出来なかったが、未満児を中心に少数ではあるが受け入れをした。(4月107名が3月120名。(4月0歳児3名が3月0歳児10名。4月1歳児12名が3月1歳児17名。))
- ・子ども・保護者の笑顔と職員の笑顔のための協力は常に必要と考える。
- ・保護者に寄り添い保護者目線の保育は常に目指していきたい。
- ・保護者の方々のニーズに寄り添うにはまだまだ努力と協力が必要と考える。
- ・コロナウイルス感染予防のため、子育てサロンは開催できなかった。
- ・施設整備は、床のワックスがけ、剪定は行った。園舎や備品の老朽化に伴い検討していきたい整備が次々に出てきた。優先順位を考えて進めていきたい。
- ・積立金がまだまだ少なく思う。大規模修繕に向けて、今後も支出内容を検討していきたい。
- ・園児と職員の保険に関しては、現状補償内容は妥当と考える。
- ・コロナウイルス感染予防のため、保護者の保育士体験ができず残念であったが、言葉で園生活の様子を伝えた。また、ビデオの貸し出しなど工夫した。

○ 取り組みの結果

- ・怪我はあったが、職員間で声をかけあい互いに助け合い努力をした。
- ・子どもへの言葉や言動は、良くなってきていると思う。更に考えていきたい。
- ・全ての園児に対し同じように関わるように意識していた。
- ・保護者対応・園児との関わりを統一するため、非常勤職員との連携は日々必要と考える。
- ・コロナウイルス感染予防のため、研修参加は出来なかった。
- ・ヒヤリハットを生かし切れていないと感じるが、個々に努力が見られた。
- ・園児の登園数が減少した時期に、園内の片付け整理を行った。
- ・玩具の購入検討よりも備品や園舎内の整備に検討が必要と感じる場面があった。
- ・日頃の園生活を写真や言葉で保護者に伝えた。3・4歳児の運動会はDVDを貸し出した。通年の行事ができないこともあり、残念がる保護者が多かった。職員としても残念だったが、園児の園生活の思い出、成長や達成感のために工夫してできる範囲で行った。
- ・コロナウイルス感染予防のため、給食を子どもとともに食べるにも職員は子どもと離れた机で食事をするなどの制限がある日々だった。

○ 職員構成

令和3年3月31日現在

	施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理師	看護師	事務	その他
常勤	1	1	12	0	1	0	0	0
非常勤	0	0	4	0	1	1	1	0

嘱託医 茂木医師(内科) 近藤医師(歯科)

派遣保育士 3名 派遣調理師 2名

○ 定員等

令和3年3月31日現在

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	10	20	20	20	20	20	110
入所数	10	17	23	24	20	26	120

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 会議

- ・以上児・未満児・給食関係（離乳食・アレルギー）会議・全体会議と行ってきた。新型コロナウイルス感染予防のため、代表者の出席による会議、書面での共通理解と工夫した1年間であった。
- ・法人理事をはじめ法人の方々、他施設の事務職員が参加してくださり、たくさんのご指導ご意見をいただいた。

(2) 研修

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、研修参加を見送った。また、研修が中止になることも多く、ほとんど研修参加は出来ていない。
- ・園内研修で防犯・防災・心肺蘇生法・消火訓練などの研修、お子さんをあずかる立場として大事な研修も中止になった。可能な場合は DVD の貸し出しを依頼した。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
	AED心肺蘇生法（綾瀬市消防署）中止	常勤・非常勤職員
	防災訓練 中止	常勤・非常勤職員
10月	防犯訓練指導 クラスごと DVD	常勤・非常勤職員
	消火・通報訓練 中止	常勤・非常勤職員
4月～3月	楽器指導 中止 お茶教室 中止	松、桜園児と担任他 松・園児と担任

2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/20	法人広報・研修会	三澤
7/28	綾瀬市保育会・乳幼児救急法	木谷
7/30	綾瀬市保育会・乳幼児救急法	長谷部
10/8	社労士による研修及び相談	藤岡
11/14	子育て講演会	藤岡

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	入園,進級式・保護者会総会・クラス懇談会・子どもの日行事食	
5	以上児尿検査	
6		
7	プール開き・消防クラブ任命式・花火指導・すいか割・交通安全 DVD 鑑賞・保護者役員会・健康診断	
8		実習生受け入れ
9	年長ボディーペインティング・職員健康診断	実習生受け入れ
10	お店屋さんごっこ・お楽しみ会・5歳児ミニ運動会・健康診断・防犯訓練 DVD 鑑賞・ハローウィン・職員健康診断・職員インフルエンザ予防接種	
11	歯科検診・2歳児尿検査・七五三(クラスごと)・職員インフルエンザ予防接種	実習生受け入れ 支援員実習
12	発表会(以上児のみクラスごと)・お餅つき・クリスマス会(クラスごと)	発表会リハーサル、発表会(文化会館)
1	郵便屋さんごっこ・どんど焼き・給食バイキング	
2	節分・5歳児クッキング	
3	ひなまつり誕生会・5歳児とのお別れ会・5歳児お茶体験・5歳児クッキング・全クラス交流会・5歳児お別れ遠足・2歳3歳児クッキング・卒園式	
<p>その他</p> <p>【毎月1回】— 身体測定・避難訓練・誕生会(クラスごと)</p> <p>【4月,5月,10月~3月の月1日】— お弁当の日</p> <p>※ コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止の行事多数あり</p>		

令和 2 年度 貴志園 事業報告書

1、全体の総括

新型コロナウイルス（以下、コロナと表記）という未知の病原体によって、今まで当たり前に行っていたことができなくなるなど、不安と制約の多い中での利用者の支援に対して、健康管理を第一に考えた日々の消毒やマスクの着用、朝夕の検温など感染対策に重きを置かざるを得ない1年であった。そのため、令和2年からの3か年計画（中長期計画）にも大きく影響し、実施することができないものもあるなかでの事業運営はとても厳しい状況であったが、コロナという未曾有の感染症と、それに影響された社会問題に対して、職員と利用者が協力し合い、一体となって健康管理を含めた、新たな生活様式を模索し続けてきた結果、一人もコロナに感染することなく、さらに、最低限ではあるが、一般的な社会生活に応じて利用者の生活の乖離がないよう支援し続けてきた職員に深く感謝している。

2、取り組みの結果

(1) 中期運営計画における重点課題の結果（3か年計画の1年目）

①職員育成

部門	事業	取り組み状況	達成度
生活支援部門	施設入所支援	朝打ち・策定会議・課会議等の機会の活用、申し送りファイルの整理等を通じて職員間の共通理解に基づく支援提供の実施に努めた。 職員2名が個別スーパービジョンを受け、面接技術等の向上が見られた。	3
	生活介護・就労 B・移行・定着	策定会議の安定的運用を図り、課内では統一された支援が行える様に整いつつある。個別スーパービジョンを受け、実践場面も踏まえ、受けた職員の支援技術が向上した。	6
地域生活部門	地域生活援助事業	毎月の課会議や毎日の打ち合わせ、策定会議などを活用しながら、利用者支援で気づいたことなどを話し合う時間を持つようにし、支援の妥当性や振り返りを行っている。	7
	相談支援事業	毎週実施される所内会議を活用し、毎週スーパービジョンを実施、計画的に業務を遂行するよう係長を中心に進捗管理をおこなった。	5
生活支援部門	放課後等 DS	日々の始業前後の打合せだけでなく、保護者面談報告等、個別支援計画策定プロセスにおいても情報共有に努めた。また、役割の明確化と支援現場における細かな確認を行うことで各職員が支援の方向性を共有し支援提供が出来た。	7

②地域との連携・社会的責任の遂行

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	コロナ禍により地域行事へ参加ができなかった。新規利用者の相談に関しては情報共有等、ゆいまーるととの連携強化に努めた。 また、『障がい者緊急時知事受入事業（仮）』の準備等、市や関係機関との連携強化に努めている。	3

部門	事業	取り組み課題	達成度
	生活介護・就労 B・移行・定着	新規利用者に繋がったのは1名。新型コロナウイルス感染症により、進路実習や就労アセスメント実習の希望者は少なく、ほか、地域活動の面でも積極的な展開は図れなかった。	4
地域生活部門	地域生活援助事業	課を越えた連携を意識し、就労先や相談事業所、市役所、通所先とも連絡を取り合いながら利用者支援を行っている。	6
	相談支援事業	園内連携会議は1件、貴志園見学会は未実施と新型コロナウイルスの影響を受けた。新規受入れ者の外部機関及び園内連携は図れつつある。	5
生活支援部門	放課後等 DS	コロナ禍につき感染防止・予防対策を最優先した結果、近隣地域との関りが減少した。関係機関連携については書面や電話等で適時状況確認を行いつつ、利用児ならびに保護者支援を実施した。	3

③ソーシャルワークと生活環境

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	ユニットの特性を活かした支援を充実させるため、夜間ユニット担当職の配置やユニット担当制を採用する等の環境整備に着手した。またユニット会議やユニット食の実施等ユニット単位での支援の充実を図った。入所利用者が適した日中活動の改善への検討は未実施。	3
	生活介護・就労 B・移行・定着	生産性に赴きを置いた配置となり、適性に加えて生産性の向上は図れたとは言えない。環境整備面では、転倒因子を排除する足元環境の保全に尽力した。	6
地域生活部門	地域生活援助事業	職員常駐までは出来ていないが、担当制を持っているため、ホーム巡回をして面談等を実施している。また、各ホームでコロナに対するGWを実施したり、少人数で誕生日会や季節の行事などを取り入れ実施した。	6
	相談支援事業	非該当	
生活支援部門	放課後等 DS	安心して利用できる衛生面の向上とコロナ過における利用児の不安感について課内で共有し、個別に時間調整や相談に応じることで利用の再開に向けた動きの一つとなった。さらに、マスクの着用や手指消毒等利用児にわかりやすく伝える方法を各職員で提案しながら行うことで、利用児の理解にもつながった	5

④就労支援事業の拡大

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	生活介護・就労 B・移行・定着	オンラインショップの積極的な実用は図れなかった。有効な環境整備も行えておらず、生産性向上や受注増も目指すものから劣ってしまう。新年度に向けた下地作りに留まってしまった。衛生管理面の徹底も図れず、困難を乗り越える体制作りの下地に留まってしまった。	4

⑤財政基盤の強化

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	昨年度は年度を通して入所利用者の定員は満床であったが、短期利用者が目標稼働率80%に対して51.9%であった。今後は対象利用者の再検討等や関係機関との連携強化等、稼働率向上に向けた対策をする必要がある。	3
	生活介護・就労 B・移行・定着	稼働日数の一定数を切ってしまう月は、収入達成度が減算する傾向。出勤率向上に繋がる工賃は継続し、報酬面の予算額には達するが、受注量減少と就労会計減収により回転資金に大きな影響を与えてしまった。	4
地域生活部門	地域生活援助事業	電化製品等計画的に予算に組み込み、支出管理を行っている。定員は常に満床で1年取り組むことが出来ている。	8
	相談支援事業	市、県からの委託収入が主だが、収益事業である指定特定相談支援事業では、月単位の変動はあるが、当初予算どおりの収入となっている。	7
生活支援部門	放課後等 DS	綾瀬市と協議のうえ、看護師配置の市単独事業の加算の確保や国から示された基準に基づき上乗せ単価の実施、柔軟な利用受け入れを行うも、急激な利用率の低下に伴い、予算額を大幅に下回る収益になってしまった。	2
総務部門	総務	財政面では、各事業所に毎月収入達成シートを作成し、予算達成に取り組んだ結果、コロナ禍の影響も受けたが最小限にとどめることができた。環境面では、県補助金を受けコロナ感染隔離棟を建設した。	7

3、職員構成

令和3年3月31日現在

	施設長	課長	係長	支援員	栄養士	看護師	調理員
常勤	4	4	7	16	2	1	1
非常勤	0	0	0	53	0	1	2

	事務員	合計
常勤	1	36
非常勤	2	58

4、定員等

令和3年3月31日現在

名称	カビーナ		コペルタ			第二椿	宮久保	にじいろ
	施設入所支援	短期入所	生活介護	就労継続B	就労移行支援	共同生活介護		放課後等DS
定員	30	4	23	11	6	16	15	10
現員	30	1	24	11	5	16	15	28
定員外	0	0	1	0	0	0	0	18
合計	30	1	23+1	11	6-1	16	15	10+18

5、人材育成

(研修実績報告)

貴志園では人材育成の一環として、施設（法人）で実施している研修と外部機関研修へ参加を含め年間研修計画に基づき実施してきた。

しかしながら、令和2年度についてはコロナ禍につき、施設（法人）で実施する内部研修も施設外研修についても延期や中止になる研修が多く、実績の大幅減少とならざるをえなかった。

今後については、従前の集合型研修だけでなくリモート等の研修実施方法の幅も増えている現状を鑑み、企画運営や派遣について柔軟な対応が行えるように進めて行く。

(1) 内部研修

研修日	研修内容	受講職員
5月27日	貴志園新任職員研修	新任職員
10月17日、11月14日	貴志園全体研修	全職員対象
7月27日、9月23日、R3年1月27日	接遇研修	採用二年目までの常勤職員
6、7、9、10、11月（5回開催） （4、5、12、1、2月は緊急事態宣言により開催なし。8月と3月は定例で開催なし）	ケース検討会	全職員対象
R3年3月12日	法人新任職員研修	新任職員
その他	非常勤研修・期間職研修	各部署単位×2回

(2) 外部研修

研修日	研修内容	人数
(入所)		
7月21日	福祉施設における応援職員派遣事業の感染症対策研修	1
小計		1
(通所)		
10月21日	障害者の福祉的就労と日中活動	1
12月11日、R3年1月15日、2月12日	相談支援従事者現任研修	1
小計		2

研修日	研修内容	人数
(グループホーム)		
7月16日	新型コロナウイルス感染症対策研修	1
12月14、15日	強度行動障害支援者養成基礎研修	1
小計		2
(ゆいま〜る)		
R3年2月1〜3日、3月3、4日	主任相談支援専門員養成研修	1
小計		1
(総務部)		
7月3、4日	地域支援視察研修	1
11月2日	社会福祉法人会計簿記研修	1
小計		2
合計		8人

6、年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	花見(4/3) 自治会(中止)	
5		
6	自治会(中止)	フェスタ(中止) グループレク(社会体験支援)(中止)
7	大掃除(7/13) 心肺蘇生法(中止) 災害備品組み立て(中止)	グループレク(社会体験支援)(中止)
8	自治会(中止)	グループ旅行(社会体験支援)(中止)
9	総合防災訓練(9/1) 健康診断(9/25) しらさぎ祭(9/20)	グループレク(社会体験支援)(中止)
10	自治会(中止) 害虫駆除(10/21)	
11	インフルエンザ予防接種 心肺蘇生法(中止)	グループレク(社会体験支援)(中止) グループ旅行(社会体験支援)(中止)
12	餅つき(中止) 自治会(中止) 大掃除(12/13) クリスマス会(12/20) 忘年会(12/28)	グループ旅行(社会体験支援)(中止)
1		グループレク(社会体験支援)(中止)
2	節分(中止) 自治会(中止)	グループレク(社会体験支援)(中止)
3	総合防災訓練(3/2) ひな祭り(3/3) 自治会(3/4) 健康診断(中止)	

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
	災害備品組み立て（中止） 害虫駆除（3/24）	
	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、グループレクと旅行は令和2年度は中止。 しらさぎ祭に関しては、利用者と職員だけで実施をした。また、クリスマス会や忘年会は 場所を分けて少人数で行い密を避ける対策を取った。	